

自分のパートナーの中に 神を見る



神は御自分にかたどって人を
創造された。

- 夫婦関係、家族関係で相手の中に神を見る
- 人は母の胎に宿った瞬間から神のかたちを持つ
- 死に逝く瞬間にも尊重されなければならない
- 人間の尊厳を守るために葬儀は大切
- 死を待つ人々をケアするインドでの働き

「男と女とに創造された」

- 男性と女性は異なる存在であることを認める。
- 「パートナーは異星人」グレイ
- 生まれた国も環境も違う夫婦が金婚式を迎えた。その秘訣は何か。
- 気持ちを通じなくて当たり前。そのためコミュニケーション。
- 夫婦の性格の相違、家族内の世代間ギャップ。マイナスがプラスに転じる。

性格の相違は大きな収穫になる。



杭と杭の間は夫婦の性格の相違を表す

アメリカの先住民が瀬上する鮭を獲る方法



ゆるしのプロセス

具体的にゆるしのプロセスをイメージし、ひとつひとつの思いを水に流し、忘れるように努める。

小川に浮かべた「ささ舟」が有効なイメージとして役立つ。

「互いに赦し合いなさい。 エペソ4:32」

- 寝る前に小川をイメージする。
- 小川に笹舟を浮かべ、「うらみ、つらみ」を載せ、流す。これを繰り返すことでマイナスな気持ちを処理する。
- 赦しに関する聖書の言葉を口に
する。「東が西から遠く離れてい
るように(詩篇一〇三篇)「相手
のしたことを忘れる。」
- 赦すことですっきりし、朝、気持ちよく目覚める。

「神から受ける慰めにより 他の人を慰める」

